



環境NPO 支援事業

環境市民団体が新しい社会の担い手として活躍できるよう、市民が主体的に行っている地域の環境活動をさまざまな角度から支援しています。2011年度(平成23年度)は、資金面を支援する公募助成や、地域の環境NPOを支援する中間支援組織への支援、環境ボランティアリーダーのスキルアップを目的とした海外研修などを行いました。

公募助成

セブン-イレブン記念財団は、日本全国のセブン-イレブン店頭の募金箱で市民(=お客様)からお預かりした募金を、地域の環境市民団体に助成金という形でお届けし、地域の環境活動を支援しています。

2011年度の「公募助成」には、応募総数420件、総額4億3968万80円のご応募をいただきました。厳正な審査の結果、232件に1億4494万2465円の助成が決定いたしました。

現物支給の軍手代78万4308円を含めた助成総額は、1億4572万6773円です。

2009年度、2010年度から継続して支援している助成先8件、1325万3940円と合わせた助成件数は240件、助成総額は1億5898万713円でした。



NPO法人 棚田LOVER's(兵庫)

2011年度(平成23年度)の公募助成

種類		助成の主旨と特徴	件数	金額
環境市民活動助成	活動助成	環境市民活動に直接的に必要な経費を支援します。100万円未満の助成と100万円以上の助成では、申請書が異なりますが、助成する科目・摘要範囲は共通です。活動資金を1年間助成します。	129件	101,268,579円
	自立事業助成	助成期間内に事務所費・人件費などの財政基盤を安定的に確保できる事業を構築し、自立した活動ができる環境NPOを目指す団体を支援します。事業資金・人件費を原則3年間継続して助成します。	2件	8,503,995円
	広域連携促進助成	同一テーマのもと、複数の団体による広域なネットワークで、地域の市民活動の効果を高めるプロジェクトを支援します。活動資金を原則2年間継続して助成します。	3件	5,093,893円
地域美化活動助成	緑化植花活動助成	苗木や花の種・苗・球根、有機肥料の購入費用や一般参加者募集チラシやポスターの作成費用、ボランティア保険代を助成します。	65件	25,579,047円 (この他、軍手支給額42,473円)
	地域清掃活動助成	清掃用具(ゴミ袋・鎌・鍬・トングなど)の購入費用、ゴミ処分代や、一般参加者募集チラシやポスターの作成費用、ボランティア保険代を助成します。	33件	4,496,951円 (この他、軍手支給額741,835円)
合計			232件	144,942,465円

環境市民活動助成の 対象活動分野

1. 自然環境の保護・保全
2. 野生動植物種の保護・保全
3. 体験型環境学習活動
4. 環境への負荷を軽減する生活をテーマにした活動



山崎川グリーンマップ(愛知)



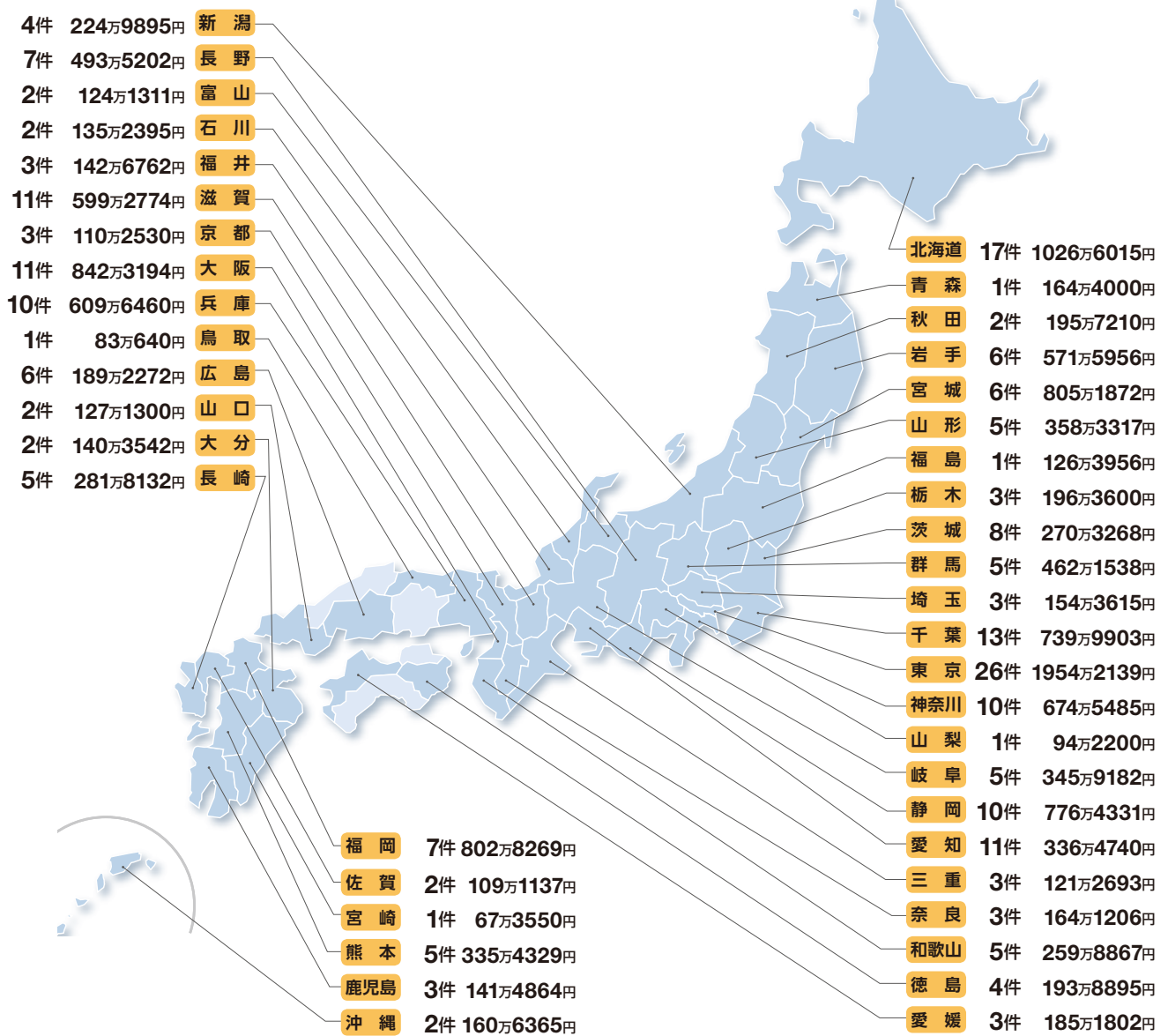
間伐ボランティアいわて(岩手)

2011年度(平成23年度) 都道府県別の助成先件数・助成金額

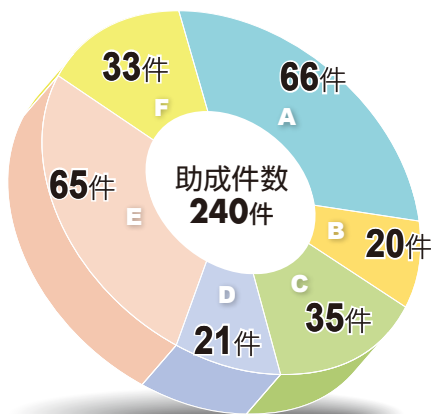
※2009年度、2010年度、2011年度の継続助成先を含む

助成先総数 **240件** 助成総額 **1億5898万713円**

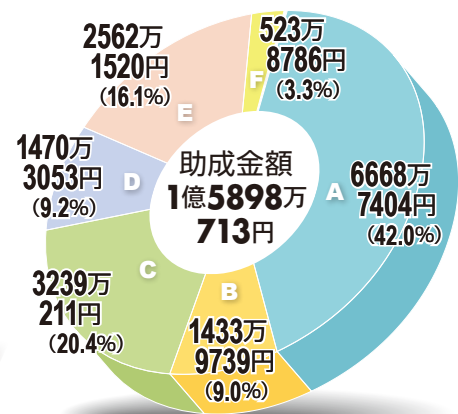
※2011年(平成23年)3月9日現在の助成総額(現物支給含む)です。



「活動分野別 助成件数」と「活動分野別 助成金額」



- A 自然環境の保護・保全
- B 野生動植物種の保護・保全
- C 体験型環境学習活動
- D 環境への負荷を軽減する生活をテーマにした活動
- E 緑化植花活動
- F 地域清掃活動



地域活動支援

地域の環境市民団体の「人・もの・資金・情報・ノウハウ・マネジメント・専門性」を相互に交流させ、それぞれの活動基盤を強化するために、北海道・東海・近畿・九州の4ブロックで中間支援組織の構築とその活動を支援しています。2011年度は、全国6カ所で「助成金セミナー」を、各地域で環境団体の交流を目的とした情報交流会を開催しました。



東京・新宿で開催した「関東の助成金セミナー」

環境ボランティアリーダー支援

環境先進国ドイツで活動する環境保護団体を訪れ、組織運営や活動技術を学び、研修で得た情報や経験、ノウハウを日本各地の活動現場で活かしていただくことを目的に、「環境ボランティアリーダー海外研修」を実施しています。2011年度は75人の応募者の中から5人の研修生をドイツへ派遣しました。

2012年2月4日、5日には、これまでに派遣した研修生で結成した「全国環境ボランティアリーダー会」の「第6回環境ボランティアリーダー会議」を東京で開催し、海外研修の報告会や情報交流、今後の事業などについて話し合われました。



環境先進国といわれるドイツでの研修

東京の緑を守ろうプロジェクト

セブン-イレブン記念財団は、東京都と2010年2月～2015年3月の5年間「東京の緑を守ろうプロジェクト」に関する協定を結び、都内に残る樹林地の緑を保全する市民活動の支援を連携・協力して行っています。

2011年度は、「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」を公募し、15件、総額2,742,708円の助成が決定しました。8月20日に都議会議事堂の都民ホールにてシンポジウム「みどりを守る知恵を分かち合い、未来へいかそう」を、12月9日に東京丸ビルの丸の内エコツツェリア協会にてトークショー「緑とともにある暮らし」を開催しました。



シンポジウムでは助成先が活動発表

環境学習活動支援

“環境”をテーマにした社会貢献活動を体験していただくために、セブン-イレブン加盟店と㈱セブン-イレブン・ジャパン社員などを対象に「セブン-イレブン記念財団 環境学習教室」を主催しています。5月15日の富士山環境学習教室は、43人が参加し、清掃と特定外来種「オオキンケイギク（大金鶏菊）」の駆除を行いました。



オオキンケイギクの花

駆除したオオキンケイギクは、45L袋×14袋